

5 学会等への発表、講習会等への講師派遣及び外部審議会等への参画状況

5. 1 学会等への発表

5. 1. 1 口頭発表

第15回 環境科学センター業績発表会

発表者	発表テーマ
岡 敬一 (情報交流部)	環境情報はどこに？ —いろいろ探せる こんな情報・あんな情報—
川原博満 (企画部)	「安全性」ってなんだろう？ —化学物質の環境リスクを減らすために—
松本 徹 (環境技術部)	県民の安全を守るために！ —アスベスト汚染への緊急対応—
石綿進一 (環境保全部)	昔はいなかった川に外来種 ^{エイリアン} が出現！ —市民との底生動物協働調査からみた水環境の変遷—

(開催 平成18年10月27日(金) ひらつかスカイプラザ(平塚MNビル11階))

第30回 県市環境・公害研究合同発表会

発表者	発表テーマ
齋藤和久 (神奈川県環境科学センター)	田んぼを中心にした水域の魚類分布と生息場所の特性
田中利永子 (川崎市公害研究所)	多摩川河口干潟の生物について
福嶋 悟 (横浜市環境科学研究所)	横浜市の河川生物指標 —生物から見た川の状況—
渡邊久典 (神奈川県環境科学センター)	有機性廃棄物の水素発酵技術 —小麦ふすまなどから水素をつくる—
上坂 弘 (川崎市公害研究所)	川崎市のヒートアイランドについて —2005年度の調査結果—
佐俣満夫 (横浜市環境科学研究所)	横浜市のヒートアイランドについて —観測事例と熱環境マップづくり—
横浜労災病院 内科部長 武内浩一郎 氏	特別講演 1 「石綿による健康障害」 —石綿による健康不安を訴える人への対応—
元国立公衆衛生院長 横山 榮二 氏	特別講演 2 「化学物質への挑戦」 —リスクを知り立ち向かおう—

(開催 平成18年6月5日(月) 横浜市教育文化センターホール)

平成18年度 学会等発表一覧(口頭・ポスター発表)

学会名・発表年月	課題名・発表者
2006年度ゴリ研究会 H18.5(横須賀市自然・ 人文博物館)	なぜ小田原市鬼柳の用水路でメダカは生き残ってこれたか？(口頭) ○齋藤和久、石綿進一、大塚知泰(環境保全部)、勝呂尚之(水産技術センター)、杉崎 茂(酒匂川メダカトラスト)
日本環境化学会 第15回環境化学討論会 H18.6(仙台国際センター)	膜分離法を用いた環境水中揮発性有機化合物のオンサイト抽出・濃縮法の開発(口頭) ○三島聡子(環境保全部)
	土壌・底質等環境試料中のふっ素分析法の検討(口頭) ○小倉光夫(環境技術部)
	水田土壌中のダイオキシン類残留量及び流出量の推計(口頭) ○加藤陽一、秀平敦子(環境保全部)
日本騒音制御工学会 平成18年秋季研究発表会 H18.9(愛知工業大学)	新幹線鉄道騒音・振動による被害感への相互効果(口頭) ○横島潤紀(環境技術部)、田村明弘(横浜国立大学大学院)
	開放型事業場の騒音調査(口頭) ○石井 貢、横島潤紀(環境技術部)
2006年度日本建築学会大会 (関東)学術講演会 H18.9(神奈川大学)	複合騒音の評価手法に関する研究(口頭) その4 聴取妨害を発生させた状況下での模擬居間実験 ○横島潤紀(環境技術部)、太田篤史、田村明弘(横浜国立大学大学院)、紙谷 淳(横浜国立大学大学院生)
日本音響学会 2006年秋季研究発表会 H18.9(金沢大学)	複合騒音の評価構造に関する共分散構造分析の適用(口頭) ○横島潤紀(環境技術部)、太田篤史、田村明弘(横浜国立大学大学院)
第47回大気環境学会年会 H18.9(東京大学)	ごみ燃料化施設から発生する有害大気汚染物質(口頭) ○高橋通正(環境技術部)
	神奈川県、横浜市、川崎市によるPM2.5対策共同結果(5) 一経年的な変動傾向一(口頭) ○小山恒人(環境保全部)、白砂裕一郎(横浜市環境科学研究所)、山田大介(川崎市公害研究所)、(神奈川県公害防止推進協議会粒子物質対策部会)
	最新の都市大気エアロゾル研究～観測とモデルの接点(口頭) ○小山恒人(環境保全部)
平成18年度全国環境研協議会 関東甲信静支部大気専門部会 H18.9(千葉県)	神奈川県の大気環境におけるホルムアルデヒドの濃度分布と発生源寄与の推定(口頭) ○武田麻由子(環境保全部)
土木学会環境システム委員会第34 回環境システム研究論文発表会 H18.10(京都大学)	化学物質の安全性影響度を用いた地域の大气環境負荷に関する評価(口頭) ○川原博満(企画部)
平成18年度全国環境研協議会 関東甲信静支部水質専門部会 H18.10(静岡県)	埋立地浸出水における農薬のオゾン処理に及ぼす塩分の影響(口頭) ○田所正晴、坂本広美(環境技術部)

第33回環境保全・公害防止研究 発表会 H18.10(新潟県)	土壌・底質等環境試料中のふっ素分析法の検討(口頭) ○小倉光夫(環境技術部)
第17回廃棄物学会研究発表会 H18.11(北九州市)	廃棄物に含まれる有機化合物の溶出特性について ービスフェノールAと1,4-ジオキサンの違いー(口頭) ○坂本広美、福井博(環境技術部)、大迫政造、肴倉宏史(国立環境研究所)
	最終処分場の廃止時期の判定における浸出液採取方法の検討(口頭) ○福井博、高橋通正、斉藤邦彦、坂本広美(環境技術部)
	炭水化物を基質とする連続水素醗酵における醗酵条件の検討(口頭) ○渡邊久典、福井博(環境技術部)
第20回環境情報科学環境研究 発表会 H18.11(日本大学)	流域の環境負荷評価のための農薬流出推定(口頭) ○池貝隆宏(企画部)
日本水処理生物学会第43回大会 H18.11(仙台市)	噴流式汚泥粉碎装置による生物処理汚泥の可溶化効果の検討(口頭) ○田所正晴(環境技術部)、遠藤敏郎(足柄衛生センター)
Inter-noise 2006 H18.12(ホノルル)	Interactive effects between Shinkansen railway noise and vibration on annoyance(口頭) ○横島潤紀(環境技術部)、田村明弘(横浜国立大学大学院)
	Measurement methods for “Guidelines for the evaluation of habitability to building vibration” in AIJ(口頭) ○横島潤紀(環境技術部)、伊積康彦(鉄道総合技術研究所)、平松和嗣 (NTTファシリティーズ研究開発本部)、石橋敏久(鹿島技術研究所)、 永関慶樹(三井ホーム)、後藤剛史(法政大学工学部建築学科)
平成18年度全国環境研協議会 廃棄物研究発表会 H19.2(文京区)	ごみ焼却施設から発生する大気汚染物質(口頭) ○高橋通正(環境技術部)
第41回日本水環境学会年会 H19.3(大阪産業大学)	汚染地下水からのモリブデンの除去について(口頭) ○井上充(環境技術部)、西村修(東北大学大学院工学研究科)、 稲森悠平(国立環境研究所)
	土壌・底質等環境試料中のバリウムの定量(口頭) ○小倉光夫(環境技術部)
	埋立地浸出水における農薬のオゾン処理に及ぼす塩分の副次的効果(口頭) ○田所正晴、坂本広美(環境技術部)
	水生生物の保全に向けた金目川水系の実態調査Ⅲ (河川水の生態影響試験結果)(ポスター) ○大塚知泰、三島聡子、斎藤和久、石綿進一、安部明美(環境保全部)、 川原博満(企画部)
日本音響学会騒音振動研究会 H19.3(産業技術総合研究所 ・秋葉原)	複合交通騒音の評価指標に関する研究ー2年目の調査、実験の報告ー (口頭) ○横島潤紀(環境技術部)、太田篤史、田村明弘(横浜国立大学大学院)

5. 1. 2 論文等発表

環境科学センター研究報告（第29号）

執 筆 者	テ ー マ 名
安部明美(環境保全部)	[総説] 1,4-ジオキサンによる水環境汚染の実態と施策 －地方試験研究機関の仕事に着目して－
井上 充(環境技術部)、秀平敦子(環境保全部)、岡村和雄*(廃棄物対策課)、林 禾*(東海大学大学院工学研究科)	[論文] 紫外線照射／メタノール添加法による工場排水中の高濃度硝酸性窒素の除去
杉山英俊(環境保全部)	[報告] 土壌構成成分である金属酸化物中におけるピレンの塩素化およびニトロ化に関する研究
福井 博、高橋通正、斎藤邦彦、坂本広美(環境技術部)	[報告] 最終処分場の廃止に向けた安定度判定に関する研究
石井 貢、横島潤紀(環境技術部)	[報告] 実測に基づく道路に面する地域の環境騒音の推計方法の検討
池貝隆宏(企画部)	[報告] PRTRデータと濃度予測モデルを用いた大気環境リスク評価の検討
三島聡子、大塚知泰、加藤陽一、長谷川敦子、斎藤和久、杉山英俊、安部明美(環境保全部)	[資料] 神奈川県の水域における環境ホルモン実態調査結果(Ⅳ)
岡 敬一、大塚定男(情報交流部)	[資料] 環境総合統計データベースの構築と効果的な提供手法の確立
武田麻由子、阿相敏明(環境保全部)	[短報] 神奈川県の大気環境におけるアルデヒドの濃度分布と二次生成寄与分の推定
斎藤和久、石綿進一、大塚知泰(環境保全部)、勝呂尚之*(県水産技術センター内水面試験場)、杉崎 茂(酒匂川メダカトラスト)	[短報] 水田を中心とした水域の魚類分布と生息場所の特性

*印は、環境科学センター以外の共同執筆者を示す。

平成18年度 論文等研究発表一覧

(1) 論文、報告等

発表テーマ・発表者	学会誌等名称
閉鎖後10年以上が経過した最終処分場浸出水中のビスフェノールAおよび4-ノニルフェノール濃度の変動特性とその要因 <論文> ○坂本広美、福井 博、高橋通正、齋藤邦彦(環境技術部)、金子栄廣(山梨大学大学院医学工学総合研究部)	廃棄物学会論文誌 Vol. 17, No.4(2006)
新幹線鉄道の騒音と振動による複合被害感 <論文> ○横島潤紀(環境技術部)、田村明弘(横浜国立大学大学院工学研究院)	日本音響学会誌 Vol. 62, No.9(2006)
化学物質の安全性影響度を用いた地域の大气環境負荷に関する評価 <論文> ○川原博満(企画部)	第34回環境システム研究論文発表会講演集 (2006)
塩化セリウムを用いた凝集沈殿法によるほう素含有排水の処理に関する検討 <論文> ○秀平敦子、井上 充(環境技術部)	水環境学会誌 Vol. 29, No.10(2006)
小麦フスマを基質とする水素醗酵における初期pH及び培養温度の影響 <論文> ○渡邊久典(環境技術部)、吉野秀吉(県央地域県政総合センター)	環境技術 Vol. 35, No.10(2006)
流域の環境負荷評価のための農薬流出推定 <論文> ○池貝隆宏(企画部)	環境情報科学論文集 No.20(2006)
アルカリ溶融/水蒸気蒸留、吸光光度法による底質・土壌等固体試料中のふっ素定量法の改良 <論文> ○小倉光夫(環境技術部)	環境化学 Vol. 16, No.4(2006)
PETボトルとそのリサイクル製品に含まれるSbおよびGeの定量 <論文> ○坂本広美(環境技術部)、金子栄廣(山梨大学大学院医学工学総合研究部)	環境化学 Vol. 17, No.1(2007)
木造家屋内における鉄道走行時の振動実測結果について <論文> ○横島潤紀(環境技術部)、伊積康彦(鉄道技術研究所)、平松和嗣(NTTファシリティーズ研究開発本部)、石橋敏久(鹿島技術研究所)、永関慶樹(三井ホーム)、後藤剛史(法政大学工学部建築学科)	日本建築学会技術報告集第24号(2006)
畜産及び蓄ふんコンポスト施設の悪臭発生と脱臭対策 <報告> ○高橋通正(環境技術部)	環境技術 Vol. 35, No.12(2006)
湿式法から乾式法への変更で評価の変わる関東地域における光化学オキシダント濃度 <報告> ○阿相敏明(環境保全部(現湘南地域県政総合センター))	全国環境研究会誌 Vol. 31, No.2(2006)
神奈川県における河川底生動物調査結果—外来種の分布— <報告> ○石綿進一、齋藤和久(環境保全部)、中井克樹(滋賀県立琵琶湖博物館)、小林紀雄(河川生物研究所)	全国環境研究会誌 Vol. 32, No.1(2007)

(2) 総説、解説、その他

発表者・発表テーマ	学会誌等名称
「安全性」ってなんだろう？－化学物質の環境リスクを減らすために－ ○川原博満(企画部)	環境と測定技術 Vol. 33, No.12(2006)
有害化学物質管理のための環境リスク評価 ○川原博満(企画部)	＜ニュース＞ しんかんきょう 第112号(2006)
神奈川県のおキシダント濃度について ○飯田信行(環境保全部)	＜ニュース＞ しんかんきょう 第113号(2007)

(3) 共同・受託調査研究報告書、書籍等

<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境評価マップで茅ヶ崎の自然を見てみよう ○海老名の昆虫 ○かながわ田んぼの生きものウォッチング ○酒匂川水系の水生動物－里地・里山の生きものたち－ ○神奈川の大気汚染(報告書) ○一般環境及び道路沿道における大気中微小粒子物質 (PM2.5) 調査事業報告書 ○平成17年度浮遊粒子状物質合同調査報告書 関東における大気エアロゾルのキャラクターゼーション(第23報) ○再生製品に対する環境安全評価手法のシステム規格化に基づく安全品質レベルの合理的設定手法に関する研究 ○国立環境研究所研究報告 第193号 日本における光化学オキシダント等の挙動解明に関する研究 	<p>茅ヶ崎市 海老名市教育委員会 環境科学センター 環境科学センター 環境科学センター 神奈川県公害防止推進協議会浮遊粒子状物質対策検討部会 関東地方環境対策推進本部大気環境部会浮遊粒子状物質調査会議 (財)廃棄物研究財団 (独)国立環境研究所</p>
---	--

5. 2 講師派遣

所属	主催機関	演題	講師	年月日
企画部	○(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	化学物質評価管理セミナー 「化学物質管理推進に係る取り組みと展望」	川原博満	H18. 7. 12
	○(社)神奈川県環境保全協議会	平成18年度公害防止管理者等講習会 「化学物質環境リスク評価について」	川原博満	H18. 12. 5 . 7
環境保全部	○環境省環境調査研修所	課題分析研修Ⅲ「河川の底生動物」 (水生生物、分類・同定方法実習)	石綿進一	H18. 4. 18 . 19
	○茅ヶ崎市立鶴嶺中学校	環境教育	石綿進一	H18. 5. 15
	○川名自然フォーラム	田んぼの生きものと自然環境 ー小川・田んぼは命の宝庫ー	齋藤和久	H18. 7. 23
	○県立川崎図書館	Stop!温暖化ー地球環境は、今・・・	相原敬次	H18. 7. 29
	○湘南生活クラブコモンズ 足柄環境委員会	酒匂川の水生生物	石綿進一	H18. 8. 19
	○神奈川県地球温暖化防止活動推進センター	専門実践研修「テーマ“そら”」	相原敬次	H18. 11. 23 . 30
	○神奈川県環境学習リーダー会	PM、アスベストの現状、最新情報について	小山恒人	H18. 11. 27
	○横浜市栄区生涯学級	暮らしの環境と自動車排ガス	相原敬次	H18. 12. 12
	○横浜国立大学	人間と生活環境「11. 水と生活環境」	三島聡子	H18. 12. 19
	○県企業庁大和水道営業所	ISO所属研修「地球温暖化について」	相原敬次	H19. 1. 24
	○あつぎ環境市民の会	水生動物に学ぶ外来種問題	石綿進一	H19. 2. 3
	○(社)神奈川県環境保全協議会	環境分析	加藤陽一	H19. 12. 7
	○関東地方環境対策推進本部 大気環境部会	浮遊粒子状物質調査会議講演会 「関東SPM共同道路沿道調査結果について」	小山恒人	H19. 3. 16
	○大気エアロゾル測定技術研究会	大気エアロゾルセミナー 「関東の道路沿道におけるPM2. 5濃度」	小山恒人	H19. 3. 22
	○県平塚保健福祉事務所	ISO所属研修「地球環境問題について」	石綿進一	H19. 3. 28
環境技術部	○秦野市環境農政部	平成18年度環境セミナー 「アスベスト対策の現状と課題」	松本 徹	H18. 6. 29
	○(社)神奈川県環境保全協議会	振動測定技術	横島潤紀	H18. 7. 20
	○北海道・東北地区浄化槽 指定検査機関連絡協議会	浄化槽の機能障害と微生物について	田所正晴	H18. 9. 7
	○(独)産業技術総合研究所 計量研修センター	平成18年度環境計量講習 (道路交通振動、航空機騒音) ” (航空機・鉄道騒音、工場・建設作業振動)	石井 貢	H18. 9. 8、 10. 19
	○全環研関東甲信静支部大気 専門部会	神奈川県のアスベスト飛散防止対策	横島潤紀	H18. 10. 5 10. 18、11. 7
	○平塚市立大洋中学校	大気汚染の原因や影響	松本 徹	H18. 10. 28
	○西湘地区公害行政研究会	低周波音問題の対応と測定	石井 貢	H19. 2. 7
情報交流部	○環境省環境調査研修所	騒音・振動防止研修「事例研究」	堀江裕一	H18. 7. 27
	○(独)国立環境研究所	平成18年度環境情報ネットワーク研究会 「情報セキュリティ対策の現状と課題」	岡 敬一	H19. 2. 8-9

5. 3 外部審議会、委員会等への参画状況

審議会

審議会名称	委 嘱 元
○中央環境審議会（専門委員） ○厚木市環境審議会 ○平塚市環境審議会 ○鎌倉市生活環境整備審議会 ○寒川町環境審議会	環境省 厚木市 平塚市 鎌倉市 寒川町

委員会、検討会

委員会、検討会等名称	委 嘱 元
○平成18年度国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 （茨城県神栖地区における汚染解明のための調査検討会） （神栖・平塚地区における汚染解明のための調査検討会）	環境省総合環境政策局環境保健部
○平成18年度環境大気測定機の信頼性評価検討会	環境省水・大気環境局大気環境課
○すそ切り以下事業者排出量推計方策検討会（経済産業省委託）	（社）環境情報科学センター
○ダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討会（環境省委託）	（社）環境情報科学センター
○平成18年度PRTRデータ活用新支援システム検討会（ 〃 ）	（社）環境情報科学センター
○「臭気指数規制2号基準算定に関する検討調査」検討会（ 〃 ）	（社）におい・かおり環境協会
○平成18年度「全シアン、六価クロム、ほう素、BOD及びTOCの自動測定器、簡易・半自動測定器の性能」検討委員会（ 〃 ）	（社）日本環境技術協会
○環境・衛生部会試験法委員会 空気試験法専門委員会（ 〃 ）	（社）日本薬学会
○平成18年度振動評価手法のあり方に関する検討調査委員会（ 〃 ）	（社）日本騒音制御工学会
○同上「振動感覚特性ワーキンググループ」（ 〃 ）	〃
○平成18年度騒音評価手法および規制手法等検討調査委員会 「航空機騒音に関するワーキンググループ」（ 〃 ）	〃
○同上「鉄道騒音に関するワーキンググループ」（ 〃 ）	〃
○平成18年度騒音による住民反応(不快感)に関する社会調査検討委員会（ 〃 ）	〃
○有害大気汚染物質モニタリング推進事業検討会（ 〃 ）	（財）日本環境衛生センター
○平成18年度「有機ヒ素化合物に汚染された土壌及び地下水の浄化技術に関する検討会」（ 〃 ）	日本技術開発(株)
○平成18年度老朽化した化学兵器の情報に関する検討委員会（ 〃 ）	日本エヌ・ユー・エス(株)
○PRTR排出量等算出方法等検討会（ 〃 ）	（株）エックス都市研究所
○相模湖・津久井湖等流域負荷量予測検討会（ 〃 ）	（株）数理計画
○化学物質環境実態調査分析開発検討実務者会議(LC/MS)（ 〃 ）	帝人エコ・サイエンス(株)
○平成18年度環境技術実証モデル事業山岳トイレ処理技術実証委員会（ 〃 ）	(NPO法人)山のECHO
○JIS原案作成委員会 ・ JIS K 0106 排ガス中の塩素分析方法改正 ・ 分析化学用語（環境部門）	（社）日本環境測定分析協会 （社）日本分析化学会
○日本化学試験所認定機構(JCLA)認定評議会	（社）日本化学工業協会

県・市

委 員 会、検 討 会 等 名 称	委 嘱 元
○相模・城山ダム水質直接浄化対策検討委員会 ○丹沢大山総合調査実行委員会	県土整備部河川課 環境農政部緑政課・自然環境保全センター
○神奈川県産業廃棄物総合実態調査委託業者選考のための企画提案審査会	環境農政部廃棄物対策課
○神奈川県環境審議会環境基本計画推進部会	環境農政部環境計画課
○神奈川県環境基本計画推進会議ヒートアイランド対策部会	環境農政部環境計画課
○神奈川県科学技術政策推進会議幹事会	企画部政策課
○川崎市化学物質対策検討委員会	川崎市公害部・(財)日本環境衛生センター
○三浦市バイオマス利活用協議会	三浦市
○(仮称)三浦バイオマスセンター事業者選定審査委員会	三浦地域資源ユーズ(株)
○足柄衛生センター施設整備検討委員会	足柄上衛生組合
○広域ごみ処理施設採用技術検討委員会	厚木愛甲環境施設組合

その他

○(財)かながわ廃棄物処理事業団 評議員
○神奈川県公衆衛生協会 理事
○全国環境研協議会
○神奈川県市環境・公害研究機関協議会
○神奈川県公害防止推進協議会
○平塚地区環境対策協議会
○関東地方環境対策推進本部
○横浜市・川崎市・神奈川県ヒートアイランド問題連絡協議会
○金目川水系流域ネットワーク